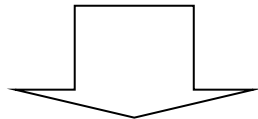


	育てたい力	具体的な授業改善策
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○文章を読んで、自ら疑問点を探して、読み深めようとする。</li> <li>○漢字に対する苦手意識をなくし、すすんで漢字を書けるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どのような文章かを全体で確認し、読み深める部分を確認できるようにする。</li> <li>○クイズなどを活用して漢字に対する抵抗感をなくしていく。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歴史に対して興味をもつだけでなく、なぜこのようなことになったのかと疑問をもって学習に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担任から疑問点を投げかけたり、学習課題をもたせたりして、授業に臨む気持ちを高めていけるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを出すだけでなく、友達への考えに対しても肯定的な意見をもって授業に臨む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○課題→めあて→自己解決の流れの中で自分の考えを確認し、全体で考えを共有できる流れを確立させていく。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験を正確に行う。</li> <li>○予想を立てて、それをどのように実験するのかを考えて取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実験の手順を正確に表し、自分が何をすればよいのかを把握できるようにする。</li> <li>○予想⇒実験方法⇒実験⇒考察⇒まとめのサイクルを確立し、考える力を伸ばしていく。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でどのようにすれば力が伸びるのか考えたり、仲間と教え合ったりして高め合う。</li> <li>○何事も挑戦しようとする気持ちをもって取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習カードを使い、授業の流れを視覚化する。学習の振り返りで、友達の良かったところを発表する時間を確保する。</li> <li>○めあてを確認して、頑張ることを視覚化する。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分ならばどのような行動をとるのかをじっくり考え、ノートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○疑問点を全体で共有した後、ノートをまとめる時間を多めにとり、考えを深められるような授業を展開する。</li> </ul>
総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味をもったことについて、インターネットや図書室などを活用して、丁寧に調べる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大きな課題を提示した後、自分にとって興味あることは何であるかを考える時間をじっくりとったり、対話を重ねたりして調べる喜びに気付けるようにする。</li> </ul>
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ミシン、裁縫道具などを正しく使って、自分の生活に役立つものを楽しく作る。</li> <li>○栄養バランスを考えて食事をとったり、簡単な料理を作ったりして健康に気を付けた食生活を意識すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ICTを活用して手元を大きく映したり、動画で示したりしながら正しい用具の使い方を習得させていく。内容により、保護者ボランティアの協力で個別支援を行う。</li> <li>○栄養に関する基礎知識を習得できるように、ワークシートなどを工夫していく。また給食など日常的な食事の中でも、どの食材がどの栄養になるかなどを考えさせていく。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら様々な音楽に親しむ。</li> <li>○曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表すか思いや意図をもつ。</li> <li>○表したい音楽表現をするための技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎時のねらいを明確にし、個人の学習活動を保証すると同時にペア、グループ学習を有効に取り入れる。</li> <li>○個人の思考の時間や周囲との交流の時間を取りながら自分の考える表現に自信をもつよう導く。</li> <li>○運指表の掲示や机間指導を通して個々の進度に気を配るようにする。</li> </ul>

図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分や他者の感覚や行為を通して、造形的な見方考え方を深めること。</li> <li>○材料や用具を活用し、表し方などを自分で発想し構想を重ねながら、創造的に作ったり表したりすること。</li> <li>○親しみのある作品などを鑑賞し、造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて、感じ取ったり考えたりし、他者の感じ方に触れながら自分の見方や感じ方を深めること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○造形的なよさや面白さを深めるために、既習の道具や材料を使ってよいことを常に伝える。</li> <li>○発想を深めるための手立てとして、相互鑑賞の場の作り方を工夫し、自分と他者の感じ方の相違を感じる機会を持ち、価値観を広げるきっかけをつくる。</li> <li>○自分たちの作品や美術館での鑑賞活動などを通して、自分の感性で作品を感じとるおもしろさを感じるとともに、見方を深め自分の表現に生かしていけるような活動の流れにする。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語での会話や文章を聞いて、知っている単語を聞きとり、話のたいを理解すること。</li> <li>○日常生活に関する表現を覚え、友達と簡単なやりとりをしたり、自分のことを発表したりして授業に取り組むこと。</li> <li>○覚えた単語のいくつかをアルファベットで書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リスニングの時間を設定して、分かったことをメモさせ、全員で確認する。</li> <li>○チャンツやゲームを工夫し、分かりやすく楽しめるルールのもとに英語表現に親しませる。</li> <li>○ライティング時間を設定し、習った単語のスペルをよく確認させ、正確なアルファベットで書かせる。</li> </ul>



	成果○ と 課題▼
国語	
社会	
算数	
理科	

体 育	
道 徳	
総 合	
外 国 語	
家 庭 科	
音 楽	
図 工	